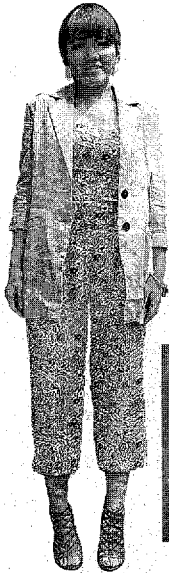
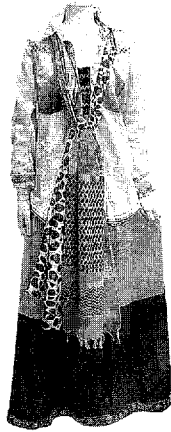


コンビネゾン&マキシ丈ワンピース



ローズバッド 新宿店



③小花柄のベアコンビネゾン1万5540円、麻のロングジャケット1万2390円、ともに「ローズバッド」。売れ筋となっているグラディエータータイプのサンダルブーツ「ヴィアウノ」1万7840円

④(上) ジャストサイズが人気のダンガリーシャツ1万5540円、花柄が苦手な客が買っていく大人っぽいエスニック風のマキシ丈ワンピース1万2390円、ともに「ローズバッド」。多柄切り替えのストール「コデロ」6195円

④(下) 無地に続くリピート柄いも多いパワーショルダーのポーターTシャツ「ローズバッド」4830円

⑤エスニック調のプリントパーカ「アジアインダストリー」6195円、コットンレースのマキシ丈ワンピース「ヴァレット」1万3440円

⑥ポーター柄のカットソー トップ「ココネジュ」9240円、タンクトップ「ジョンブル」4200円、サルエル風変形カーゴパンツ「ジョンブル」1万8900円

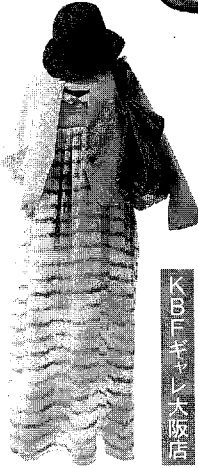
イニシャル・ワン・トゥエルヴ



フリースマート 自由が丘店

⑦売れ筋1位は小花柄プリントのロング丈コンビネゾン6930円、ウエスタンテイストが支持されたダンガリーシャツ4515円、ストローハット2940円、すべて「フリースマート」

⑧ふんわりしたフォルムの綿ブラウス4935円、プリーチデニムのショートパンツ4515円、買いやすい価格が人気の合成のウエスタンブーツ、すべて「フリースマート」7980円



KBFギャレ大阪店

ハンドペイント風ポーター柄のマキシ丈ワンピースは、胸元の小さな襟で上品に1万290円、あえて折り返さないデザインの変形襟が特徴の一つボタンのテラード風ジャケット9975円、ラフィアのハット3045円、すべて「KBF」



フィント名古屋バルコ店

バラ刺繍のレース付きカーディガン「アンナザアーンジュラス」6510円、ドットと花柄プリントの切り替えフレアスカート6090円、リボンプリントの長袖Tシャツ3780円、ともに「ベイビー&ベイビー」

売場観測

(価格は税込み)

専門店/レディス

3月

小花柄中心にシャツ合わせ



ブランシュール心斎橋オーバ店

⑨昨年もヒットしたサテンのコンビネゾン1万2600円、ノーカラーのGジャン1万290円、ともに「ブランシュール」

⑩ダンガリーのワンピース1万290円、バラ柄が人気のストール3675円、ともに「ブランシュール」

2月の結果

春物が順調に立ち上がって予算を達成した店が一部あったものの、今すぐ着られて長く楽しめるもの、選ぶ手堅い消費が継続し、全体的に厳しかった。「寒さがぶり返す度に春物の動きがびたりと止まって波に乗れなかった」「おしゃれ好きの先買いが減ったことが影響」「強化したレザージャケットはすでに持っている客が多く、このミスで客単価が大幅に落ち込んだ」という声があがっている。

ローズバッド新宿店 引き続きフルレングスのコンビネゾンとマキシ丈ワンピースを押しほか、大人客から注目のスポーティーなアイテムに期待する。コンビネゾンは花柄中心が続くものの、現在のキャミソールタイプからベアタイプにシフト。麻のジャケットなどと合わせるのがある。マキシ丈ワンピースは花柄中心のガーリーなもの、エスニック風やアニマル柄といった大人っぽいものの2軸で揃える。スポーツテイストはメッシュのプルオーバーなどで、モノトーンやひざ丈パンツとの合わせでクールに取り入れるのが気分。

フリースマート自由が丘店 引き続き、ロング丈のコンビネゾンやワンピース、綿のブラウスとショートパンツのコーディネートに期待する。好調なシャツ

今月のアピール

羽織りもダンガリーや小花柄など、バリエーション豊富に揃える。少しだけ遊び心を利かせたベーシック商品群を新たに投入し、セット購入を狙う。1995円のTシャツや、ひらみンスカート、2940円のパーカなどがあがる。

イニシャル・ワン・トゥエルヴ すでに動いているマキシ丈ワンピースにバリエーションをつける。総レースや小花の詰めデザインの人気が高く、強みのレザーアウターやミリタリージャケットと合わせて見せる。トレンチコートも良さそう。カジュアルテイストの人気が続いている。半端丈のカーゴパンツやコンビネ

ゾンに期待する。小物では売れているカンカン帽、本命のかごバックも充実させている。

フィント名古屋バルコ店 `ローズマリー、をテーマにしたレトロ感のあるシリーズが主力。人気となっているレース付きバラ刺繍のカーディガンや、フェミニンなプリントのフレアスカート、ダンガリーのショートパンツなど、可変らしさの中にポップな要素がある商品を提案する。

ブランシュール心斎橋オーバ店 多数入荷するコンビネゾンの販売を強化する。昨年のヒット商品だった無地サテンや、花柄シフォンなどを揃える。また、チェックや花柄のマキシ丈ワンピースにも期待する。試着を兼ねる客が多いた

る。マキシ丈ワンピースも花柄やコットンレースなどガーリーなものが中心。一方で、エスニック風やボーダー柄を探して買う客も出ている。今後も人気は続きそうだが、「4月くらいに飽きが出て落ち着くのでは」との声もあがっている。

単品ボトムは全体的に弱め。ただ、スキニーパンツやバギンズ、サルエル、ボーイズデニム、パンチングスエードのティアードスカート、ハイウエストスカートなどは健闘。春アウターはトレンチ風シャツジャケットやAラインのモッズコート、ノーカラーのGジャンなどに芽。

小物はカンカン帽が動いているほかヘッドアクセサリー、ウエスタンブーツ、グラディエータータイプのサンダルブーツなどがいい。

め、先月末から、スタッフのコーディネート写真ブックを作って、接客でアピールし、セット率アップにつなげる。ショップブログの更新も増やして情報発信も強める。

KBFギャレ大阪店 従来、全面に打ち出してきた黒着よりも1枚でさらっと着こなせる大人っぽいコーディネートを見せる。重点商品はプリントワンピース。モノトーンで統一し、派手さを抑えた。2月後半から目立った売れ行きでコーディネートに軸を据える。マキシ丈が人気。同様に支持が高いのは、アウターパンツとレギンスの間アイテムとして注目の「バギンズ」。ケミカルウォッシュジーンズ風の柄にデザインした。ハードなダメージジーンズや、サルエルパンツなどボトムの動きにも期待する。